

ひとりのため  
みんなのため



大洲市

No.104 2013年9月号



# 社協だより

編集・発行 社会福祉法人 大洲市社会福祉協議会  
〒795-0064 大洲市東大洲270-1

TEL 0893-23-0313  
FAX 0893-23-0295

URL <http://www.ozushakyo.jp>  
大洲市社協

検索

## 肱東中学校 3年生 「地域交流・体験教室」を実施しました！

### 交流・体験教室 (6月24日(月)実施)



菅田と太平洋戦争・大川の史跡巡り

関心のある教室に分かれて、地域の方々に教えて頂きながら交流しました。



竹灯籠教室



炭焼き体験



郷土料理教室

### 地域交流活動 (7月5日(金)実施)

菅田・大川会場に分かれて、ふれあい・いきいきサロンの方々と一緒に七夕飾りを作りました。生徒たちは今までの教室の成果を発表しました。



五月から始まった「地域交流・体験教室」において後半三つの教室を実施しました。自分たちの住んでいる地域のことについて学び、改めて地域の良さや魅力を発見することが出来ました。また世代の違う方々とのコミュニケーションや共同作業を行ったことで、地域のつながりや他者との協力の仕方やその大切さを学びました。後日、今回の教室で子どもたちが感じたことをまとめた成果物が、菅田・大川公民館に展示される予定です。ご協力頂きました菅田・大川地区の皆様、ありがとうございました。

### 炭だし体験 (7月4日(木)実施)



6月24日に仕込んだ炭を、今度は全員で取り出し、その炭を使つておにぎりや野菜等を焼いてみんなでおいしく頂きました。

## 大洲市ボランティア連絡協議会 災害ボランティア研修会を開催しました



煙体験の様子



全体の様子



心肺蘇生法講習の様子



起震車で地震体験の様子

平成二十五年六月二十三日(日)、肱川河川防災ステーションにおいて、大洲市ボランティア連絡協議会主催「第九回災害ボランティア研修会」が開催され、六十名の参加がありました。

今回のテーマは「地震災害時の対応について」で、起震車にて「東日本大震災」時の地震が再現されました。体験した参加者は想像を上回る揺れの激しさに茫然としていました。その後、大洲消防署員の方を講師に地震災害時の対応についてのお話を聞き、心肺蘇生法やAEDの講習を受けました。このような災害講習や訓練は繰り返し受け、いざという時に落ち着いて対応できるようにしておくことが大切であるとのことでした。

## ワークキャンプ(福祉体験学習) 事前説明会開催

七月十三日(土)、大洲市総合福祉センターにおいてワークキャンプ参加者を対象に、事前説明会を行いました。

今年度のワークキャンプは、体験先として従来の市内福祉施設に加え喜多児童館にも協力いただけての実施を予定しています。

児童館へ行く生徒たちは、大洲市YYS連絡協議会の竹田恭子さんを講師に、児童に接する時のポイントやレクリエーション実技等の指導を受けました。

また、福祉施設に行く生徒たちは、社協職員より利用者の方とのコミュニケーションのとり方や食事介助についての説明を受けた後、車椅子の操作等の実技練習を行いました。

生徒たちは皆真剣に取り組んでおり、本番に向けて気持ちを引き締めています。

ワークキャンプに参加することで各々が何かをつかみ今後役立てるることを目標に頑張ってくれることを願っています。

レクリエーションの様子  
(児童館へ行く予定の生徒たち)

全体の様子



車椅子介助の様子

## まごころのおくりもの 6月分

### 金銭の部（一般分）

草莽の一蛍様 大洲市  
元山達央様 徳森  
清流の会様 大洲  
(指定分)

《肱南地区社協へ》

笹山允様 柚木

《喜多地区社協へ》

土居泰正様 五郎

《大川保健福祉協議会へ》

高井洋満様 藏川

《新谷地区社協へ》

花菖蒲カラオケ  
実行委員会様 喜多山

《上須戒地区社協へ》

武知清様 松山市

西田達雄様 上須戒

《肱川地区社協へ》

稻田直義様 腱川町

宮本正三様 腱川町

### 物品の部

《大洲市社会福祉協議会へ》

大洲婦道会様 柚木  
タオル 80枚

あたたかい善意をありがとうございました。感謝をこめて掲載させていただきます。

## 第13回

## 「大洲ひまわり号」参加者募集

**日 時：**平成25年10月5日(土)  
午前7時30分出発  
(受付7時から)  
午後6時30分頃帰着予定

**集合場所：**大洲市総合福祉センター  
(大洲市東大洲270-1)

**行 先：**岡山方面(倉敷美観地区)

**参 加 費：**一人5,800円  
(昼食代は含まず)  
※昼食は現地のお店で  
自由に食べて頂きます

障がいを持つ方も持たない方も一緒に旅を楽しみませんか?  
リフト付き大型バスで出掛けます。是非ご参加ください♪

### 定 員：

40名  
(希望者多数の場合は抽選  
になります)

**申込受付期間：**平成25年9月1日(日)～  
9月10日(火)

**申込方法：**右記の申込先まで電話か  
郵送、または直接お申込  
みください。

### ＜申込・連絡先＞

- 大洲ひまわり号事務局(上満・西本)  
大洲市春賀甲1665

- 障害者支援施設 大洲ホーム内  
TEL 26-1216

- 大洲市社会福祉協議会 地域福祉係  
大洲市東大洲270-1  
TEL 23-0313

ボランティア  
スタッフも  
募集  
しています!



大洲人形劇サークル「へそ太郎」は、会員数八名で人形劇や腹話術の公演、レクリエーション等を毎月一ヶ月行っています。場所は団体館、高齢者福祉施設、保育園、小学校等様々ですが、お声が掛かれば大洲市

### どんな活動ですか



### 第4回 大洲人形劇サークル「へそ太郎」 会長 玉井 義幸



内に留まらずどくじへでも伺っています。

### 立ち上げと経緯

昭和五十一年に大洲市V.V.S活動から人形劇を行つケループが分離し、市内の保母さんで呼びかけ人形劇サークルとして発足しました。

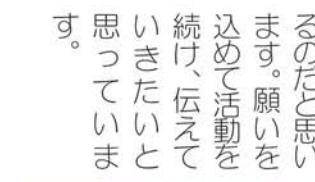
当初は、大洲中央公民館の勤労青年ホームを拠点として作品づくりをしていました。

三十年以上経った現在、公演数も通算五百八十回を超えたが、舞台や人形は発足時の先輩方が手作りされた物を補修しながら大切に使い続けています。これらの物からは、今でも当時の先輩方の熱意を感じることができます。

### 活動の楽しみ・魅力

いつも楽しむことを忘れない会員が集まっているので、練習の時も本当に面白く過せることがあります。

また、公演では観客の反応が魅力です。特に子どもは、人形劇の世界に素直に入り込んでくれるので、公演中「じんじんツッコミを入れてきます。「そんなことない!」など子どもたちが一生懸命言っているのが聞こえてくると、舞



人形も新たに追加して演目も増やしていきたいです。そして今一番の課題が、一緒に活動する仲間を増やすことです。やつてみたい人は老若男女問わず大歓迎です。誰にでもできるうえに、わくわくドキドキできますよ!

### 思い・メッセージ

私たちは、活動する中でいつも、「どうか、人の争いがなくなり、自分の事も人の事も大切にしながら生きていけるきっかけになりますように」と願っています。小さな子どもたちは、人形劇を見てストーリーの意図を汲み取ることは難しいかもしれません。でも、「鬼さんかわいそう」など場面ごとに湧き上がる感情の一つ一つが、人への優しさや思いやりなど、豊かな人間性を持つ大人への成長につながっているのだと思います。願いを込めて活動を続け、伝えていきたいと思つています。

台の陰で人形を操りながら「いいなあ、これ。」と思います。

### 今後の目標・課題

## 心配ごと相談所案内

大洲市社会福祉協議会(本所)	<p>【一般相談】毎週月・水 【弁護士法律相談※要電話予約】毎月第1・3火(9月3日と9月17日) 【司法書士等法律相談】毎月第2・4・5火および毎週木 大洲市総合福祉センター 午前10時~午後4時(弁護士法律相談は正午まで)※祝日を除く</p>
長浜支所	9月27日(金) 大洲市長浜体育館 午後1時~午後4時
肱川支所	9月5日(木) 大洲市肱川公民館 午後1時30分~午後4時30分
河辺支所	9月10日(火) 大洲市河辺老人福祉センター 午前9時~正午
お問い合わせ先	本所 TEL23-0313(代表、弁護士相談予約) TEL23-5629(相談室直通) 長浜支所 TEL52-1194 肱川支所 TEL34-2312 河辺支所 TEL39-2510